

令和5年2月2日研究公開報告

令和3・4年度大隅地区研究協力校研究公開

東串良町立池之原小学校で

「算数科」についての研究公開が開催されました。

令和5年2月2日（木）に、東串良町立池之原小学校にて、大隅地区研究協力校「算数科」の研究公開が行われました。池之原小は、令和3年度から2年間、ユニバーサルデザインの視点に着目して研究を進めてきました。研究主題は、「主体的に学習に取り組み、『確かな学力』を身に付ける児童の育成～ユニバーサルデザインの視点を生かした算数科学習指導～」です。当日は、的確な児童の実態把握に基づき設計された授業が、2学級で展開されました。児童の学びの姿や、学級・学校の設定等の様子から、研究の確実な積み上げが感じられる素晴らしい研究公開でした。



【閉会のあいさつ】
川畑 浩二校長先生

【研究発表】

池之原小は、算数科を中心に、ユニバーサルデザインの視点を生かしながら、「指導過程の構造化」、「数学的な見方・考え方を働かせる場の工夫」など、日々の授業実践を一つ一つ積み重ね、全職員が一体となった研究を進めてこられました。

その研究の概要と成果等について、研修係の谷川先生が発表されました。出席された先生方が、今後自校で取り組みやすいよう、多くの実践例を具体的に述べていました。



【研究発表の様子】

【授業研究】

分科会は、ワークショップ型形式で行われました。2つの仮説に基づき、熱心な協議が進められました。

特に、「算数モンスターの活用」や「授業終末の見届け問題や振り返り」については、参加された先生方の興味・関心が高く、活発な意見交換がなされていました。授業者へも多くの質問が寄せられていました。



【授業研究の様子】

【公開授業：第2学年 算数】

単元名「たし算とひき算」

テープ図を読んだり、式を比較したりすることを通して、加法と減法は逆の関係であることを理解させる授業でした。

「考える・深める」過程では、三角ロジックを踏まえた発表話型を活用し、ペアで互いの考えを説明し合う姿が見られました。また、相手の説明に対して積極的に質問する姿も見られました。



【2年生の授業】

【公開授業：第5学年 算数】

単元名「体積」

直方体や立方体の体積の求め方を生かして、複合図形の体積を求めたり、求め方を説明したりする授業でした。

「まとめる・振り返り」過程では、キーワードを基に自分の言葉で本時の学習内容をまとめた後、学習の定着を図るための見届け問題をしたり、ダイヤモンド・サイクルの複数の観点に基づいて振り返ったりしていました。



【5年生の授業】